

新たなる門出

無限の可能性を信じて

令和8年 阿南市二十歳の集い

1月11日、舞い散る雪の下、夢ホール（文化会館）で「令和8年阿南市二十歳の集い」が開催されました。今回の該当者は、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの方で、627人のうち533人が出席し、大人の第一歩を踏み出しました。



二十歳の決意（要旨抜粋）



藤田鋼矢さん

これから的人生、壁にぶつかることがあるかもしれません。しかし、このふるさとで得たつながりや支えてくれた方々の存在が、私たちの力になるものだと思います。今度は、二十歳となつた私たちが、この町の未来をつくつていく番です。ひとりひとりの小さな挑戦や前向きな一步が、阿南、そして日本の未来へと続していくと確信しています。

振り返れば、これまで阿南で過ごした日々は、いつも温かさに満ちています。部活動で思うように結果が出ず落ち込んでいたとき、友人が大丈夫と声をかけてくれたこと。家に帰れば「おかえり」と迎えてくれる家族の存在。先生方、地域の皆さま、気づかないところで支えられていましたのだと思います。

式は、第1部（該当地区・富岡・中野島・宝田・長生・大野・加茂谷・見能林）と第2部（該当地区・桑野・橋・椿・新野・福井・那賀川・羽ノ浦）の2部制で実施。主催者挨拶で岩佐市長は、「皆さまがこれから歩む未来は大きな可能性を秘めています。未知なる世界のいかなる変化にも力強く対応し、周囲から想定外だったと言われるくらい大きな夢を持ち、その夢の実現に向けて一歩一歩、歩んでいくことを応援しています」と激励されました。

式終了後には、芸人のみつとしーと9番街レトロがサプライズ登場。会場を大いに盛り上げました。出席者は、仲間との再会を喜び、写真を撮り合うなど旧交を温めています。



引田風花さん

これからは、不安もありますが、私たちは何かに挑戦できる強さと、誰かを思いやる優しさを持っています。日々の努力や周囲への思いやりを通して恩返しができるよう努め、自らの力で未来を切り拓いていきたいと思います。そして、誰かの支えになれるような、温かい大人でありたいと思います。

二十年前、私たちは多くの方々の温かな思いに包まれて誕生し、支えられながら今日まで歩んできました。これまでには、友達と笑い合った日々、思い悩み立ち止まつた日々もありました。部活動では、悔し涙を流した日もありましたが、仲間と最後までやり切った経験は、今の自分を形づくる大切な時間となりました。

これからは、不安もありますが、私たちは何かに挑戦できる強さと、誰かを思いやる優しさを持っています。日々の努力や周囲への思いやりを通して恩返しができるよう努め、自らの力で未来を切り拓いていきたいと思います。そして、誰かの支えになれるような、温かい大人でありたいと思います。

この二十歳の節目の日が、私たちにとって新たな出発点となり、ここに集う全ての方々のこれからが、笑顔と希望に満ちたものとなることを願い、二十歳の成人代表の挨拶とさせていたいきます。



藤田鋼矢さん

二十歳の集い実行委員会が作成したプログラム



二十歳の集い実行委員（第1部・敬称略）

（後列左から）佐野ひより、西浦志和、祖父江結子、賀上叶愛（前列左から）藤田鋼矢、長谷川麟、吉田龍牙



二十歳の集い実行委員（第2部・敬称略）

（左から）岩佐ほのか、亀島叶葉、引田風花
パンフレットデザイン 岩浅真緒

